

平成27年度 教育活動アンケート（児童）結果について

いわき市立好間第一小学校

11月に教育活動のアンケートを1～6年生で実施したところですが、集計結果がまとまりましたので、報告します。

今後の学校生活に、ぜひ生かしてほしいと思います。

- A ～ よく当てはまる B～ やや当てはまる
C ～ あまり当てはまらない D～ 当てはまらない

【 332名 】

No.	アンケート内容	A	B	C	D
1	学校は楽しいですか。	228名 68%	84名 25%	15名 5%	5名 2%
	〈考察〉 学校は楽しいと感じている子が、昨年度より1%上がり、93%に達している。学校生活を楽んでいる子が多いことがうかがえる。				
2	授業はよくわかりますか。	192名 57%	129名 39%	10名 3%	1名 1%
	〈考察〉 96%の子が、授業はわかりやすいと答えているが、4%の子がよくわからないと答えている現状から、個に応じた指導の強化が必要である。				
3	家庭学習を進んでやっていますか。	171名 52%	129名 39%	25名 7%	7名 2%
	〈考察〉 昨年度と同じであるが、91%の子は、宿題をきちんと行う学習習慣ができています。また、進んで自主学習に取り組んでいる。9%の子は、教師の指示がなければやらない傾向があるので、進んで学習に取り組ませるきっかけ作りが必要である。				
4	読書を進んでやっていますか。	196名 59%	94名 28%	33名 10%	9名 3%
	〈考察〉 87%の子は、読書を進んでやっていると答えているが、13%の子は、進んでやっていない傾向にあるようである。読みたくなる、読み続けたいくなる環境の充実を図っていく必要がある。				
5	早寝・早起き・朝ごはんの習慣ができていますか。	177名 53%	120名 36%	27名 8%	8名 3%
	〈考察〉 89%の子は、早寝・早起き・朝ごはんの習慣ができています。11%の子には、基本的な生活習慣がきちんと身に付くよう家庭との連携を強める必要がある。				
6	困っている時、先生に相談することができますか。	147名 44%	122名 37%	39名 12%	24名 7%
	〈考察〉 昨年度より3%上がり、81%の子は、悩み事を先生に話すことができているが、19%の子は、相談できずに生活していることがわかる。日常生活での行動・言動を注意深く観察し、適切な対応に努める必要がある。				
7	困っているときに、相談する友だちがいますか。	223名 67%	72名 22%	26名 8%	11名 3%
	〈考察〉 89%の子は、相談する友だちがいると答えている。しかし、親しい友だちが見つけれずに学校生活を送っている子が11%いる。交友関係が深められるように支援していく必要がある。				
8	学級は、仲良く生活していますか。	210名 63%	84名 26%	28名 8%	10名 3%
	〈考察〉 89%の子が、学級で仲良く生活している。しかし、11%の子が仲良く生活できていない。楽しい学級にして、仲良く生活できる工夫が必要である。				

No.	アンケート内容	A	B	C	D
9	元気よくあいさつをしていますか。	195名 58%	107名 32%	25名 8%	5名 2%
	<p><考察> 昨年度より4%上がり、90%の子が、あいさつをきちんとして いると答えている。全員が、元気よくあいさつできるようにしていく必要 がある。</p>				
10	人にめいわくをかけないで生活し ていますか。	170名 51%	125名 38%	28名 8%	9名 3%
	<p><考察> 89%の子が、人にめいわくをかけないで、学校生活を送っている。 11%の子は、めいわくをかけてしまう現状であるが、どう心に響かせて いくか考える必要がある。</p>				
11	知らない人についていきませんか。	320名 97%	7名 2%	4名 1%	0名 0%
	<p><考察> 99%と高い数値であるが、1%の子は、知らない人について行っ てしまうことを考えると、今後、知らない人について行ったら何が起 こるかなど、継続的に指導し、絶対に知らない人についていくことがな いようにしていく必要がある。</p>				
12	友だちに思いやりの心をもって生 活していますか。	214名 64%	101名 30%	12名 4%	5名 2%
	<p><考察> 昨年度より2%上がり、94%の子が、友だちに思いやりの心をも って生活していると答えている。とても好ましい状況にあると考える。し かし、友だちに思いやりの心をもって生活していない子が6%いる。交友 関係が深められるように支援していく必要がある。</p>				
13	人が悪いことをしているとき、注意 していますか。	160名 48%	138名 42%	28名 8%	6名 2%
	<p><考察> 昨年度より6%上がり、90%の子が、人が悪いことをしたときに、 注意していると答えている。10%の子は、注意しなければならぬとわ かっているが、積極的にしようというところまでには、至っていないよう である。</p>				
14	がんばったとき、先生はほめてくれ ますか。	226名 68%	80名 24%	17名 5%	9名 3%
	<p><考察> 昨年度より2%上がり、92%の子が、ほめてくれたと答えている。 しかし、8%の子が、ほめてくれないと感じているので、いろいろな場面 をとらえて、たくさんほめていくことが大切であると考え。</p>				
15	がんばったとき、家の人ほめてく れますか。	219名 66%	63名 19%	32名 10%	17名 5%
	<p><考察> 家の人ほめてくれるという子が、85%と高い数値であるが、1 5%の子がほめてくれないと感じているので、「ほめる」ことの大切さを 保護者に啓蒙していく必要がある。</p>				
16	夢や希望をもって生活しています か。	237名 72%	66名 20%	18名 5%	11名 3%
	<p><考察> 昨年度より2%上がり、92%の子が、自分なりに将来の夢や希望 をもって生活している。8%の子には、将来の夢や希望を持たせる工夫を し、より良い学校生活が送れるようにしていきたいと考える。</p>				